



2010 DISCLOSURE

平成22年度上半期
経営情報

—おかげさまで90周年—

 東京都職員信用組合

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 (第一本庁舎・16階北側)
TEL03(3349)1901・1401 都庁内線63-741
<http://www.toshokushin.co.jp>

平成22年度上半期の経営情報をお知らせいたします。

〈平成22年4月1日～平成22年9月30日まで〉

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しておりますので、合計が一致しない場合があります。

損益の状況

21年9月期に計上した有価証券と貸出金の損失処理額が減少し、最終損益は対前年同月比56百万円増加の130百万円

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成21年9月末 | 平成22年9月末 | 増 減 |
|-----------------|----------|----------|-------|
| ①業務粗利益 | 419 | 553 | 134 |
| ②資金運用収支 | 566 | 581 | 15 |
| ③役員取引等収支 | △ 27 | △ 28 | 0 |
| ④その他業務収支 | △ 119 | 0 | 119 |
| ⑤経 費 | 300 | 301 | 1 |
| ⑥その他経常損益 | 47 | △ 39 | △ 86 |
| ⑦株式等関係損益 | 63 | △ 39 | △ 102 |
| ⑧貸出金償却等(△) | 14 | — | △ 14 |
| ⑨その他 | △ 1 | 0 | 1 |
| ⑩経常利益(①-⑤+⑥) | 165 | 212 | 46 |
| ⑪特別損益 | 0 | 2 | 2 |
| ⑫法人税等(税効果含む)(△) | 92 | 84 | △ 7 |
| ⑬当期純利益(⑩+⑪-⑫) | 73 | 130 | 56 |

②資金運用収支

運用収益と調達費用はともに減少
収支は横ばい

貸出金、有価証券などの運用収益
767百万円 → 712百万円
預金利息などの調達費用 201百万円 → 130百万円

④その他業務収支

債券の減損処理額がゼロとなったため
その他業務収支は増加

債券の売却益 14百万円 → ゼロ
外国債券などの減損処理 134百万円 → ゼロ

⑦株式等関係損益

株式・投資信託の売却益がゼロになり
減損処理額が増加

株式等売却益 74百万円 → ゼロ
株式等の売却損、減損処理 11百万円 → 39百万円

⑧貸出金償却等

与信状態の悪化した債権が減少し引当金減少

貸倒引当金繰入 14百万円 → ゼロ

預金積金

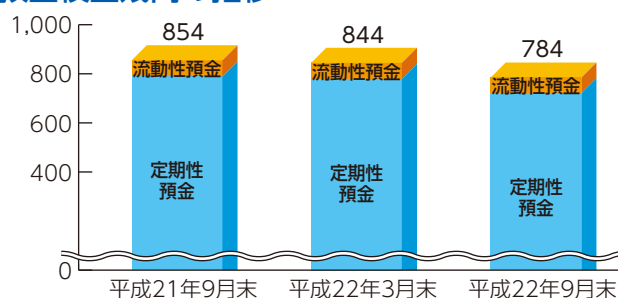
法人預金残高は127億円(22年3月末比65億円減少)
個人預金は656億円(同5億円増加)

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成22年9月末 |
|-------------|----------|
| 預 金 積 金 残 高 | 78,428 |
| (流動性預金) | 6,378 |
| (定期性預金) | 72,050 |

預金積金残高の推移

(単位：億円)



法人預金は法人1先が大口預金を解約したことにより、減少いたしました。

平成22年度も引き続き、安定した預金量を確保するため、個人預金の獲得に力を入れています。

今年度は、創立90周年という節目にあたり、現役の都区職員の皆様に幅広くご利用いただける商品として特別金利を付した「90周年記念積金」を新たに企画し、その拡販に努めています。

22年度上期 主要な個人預金実績

◆退職優遇定期預金

・金利→店頭金利+0.5% (新規)
・実績→185件 1,922百万円

◆夏のボーナス定期預金

・金利→店頭金利+0.2% (新規)
・実績→527件 894百万円

◆マイプラン積金

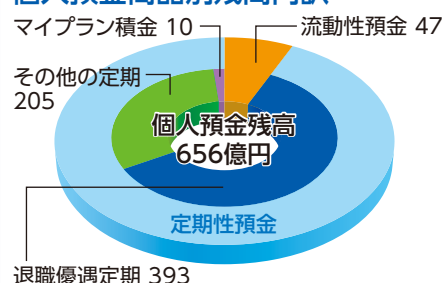
『新入職員積金』

・金利→1%
・実績→529口 残高 66百万円

『90周年記念積金』

・金利→0.9%
・実績→590口 残高 17百万円

個人預金商品別残高内訳 (単位：億円)



貸出金

住宅ローンをはじめとする貸出金は他金融機関との競争が激しく22年3月末比2億円の増加

(単位：百万円)

| 区分 | 平成22年9月末 |
|-----------|----------|
| 貸出金残高 | 28,222 |
| （住宅ローン） | 24,676 |
| （その他のローン） | 3,545 |

22年度上期 主要な新規貸出金実績

◆住宅ローン 店頭金利から更に引下げた金利を適用

- ・金利変動 店頭金利 2.475% → 1.275%
- 固定5年 店頭金利 2.750% → 1.650% など
- ・実績 → 95件 2,036百万円

◆マイカーローン

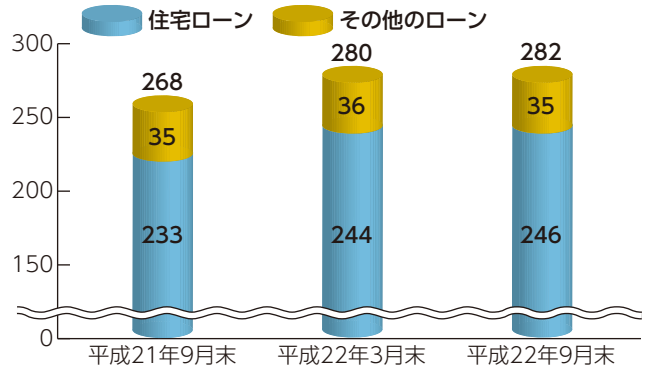
- ・金利 → 固定 2.2%
- （エコカー 2.1%）
- 変動 1.95%
- ・実績 → 126件 242百万円

◆教育ローン

- ・金利 → 変動 2.2%
- ・実績 → 77件 109百万円

※金利は22年9月末時点

住宅ローンとその他のローンの残高推移 (単位：億円)

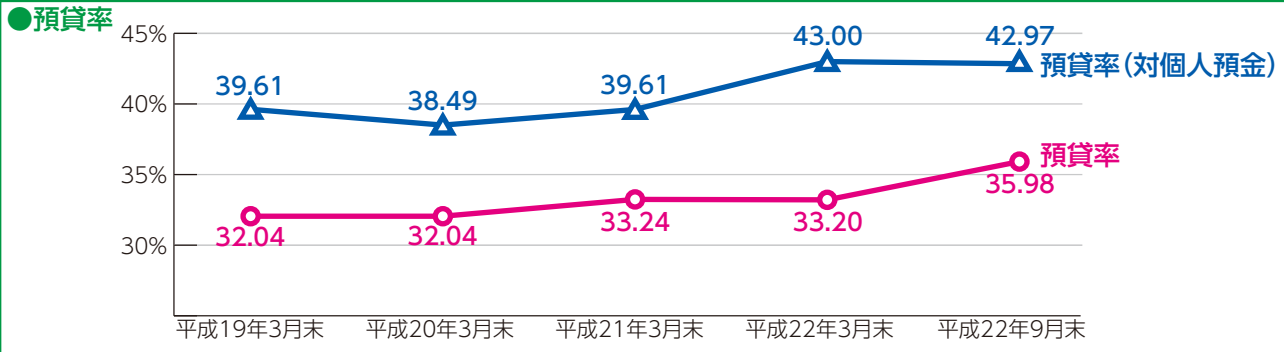


「貸出金期末残高300億円」を目標に、主力の住宅ローン、マイカーローン、教育ローンの拡販に組合を上げて取り組んでいます。

上期は、住宅金融支援機構をはじめ、他金融機関との競争が激しく、住宅ローン新規実行額はやや伸び悩んでおります。貸出金残高全体では22年3月末比2億円増加となりました。

補足(預貸率)

預金全体の預貸率は、35.98%となったが、対個人預金ベースでは42.97%



ご融資の利便性向上を目的として取り組んでいること

～「借りやすく」「返しやすい」～

毎週水曜日は夜7時まで融資相談窓口を延長。(隔月で月・金を加えた週3回実施)

融資相談窓口 時間延長

融資相談 訪問サービス

当組合職員がお客様の職場等に訪問して、ご融資の相談・申込を承ります。

金利見直し

低金利を享受したいお客様のため、適宜金利の見直しを行っております。また、キャンペーン実施の際は通常金利から引き下げた有利な金利を提供しています。

利便性 向上

諸経費 負担軽減

住宅ローンは
・保証料 …… 不要
・団体信用生命保険料 …… 無料
・繰上返済手数料 …… 無料
としています

給与控除 返済システム

毎月とボーナス時の返済は、給与控除により行います。

利用分量 配当

利用分量配当による利益還元

利用分量配当は、「利用者還元」の観点から融資をご利用いただいたお客様に対して、利用分量に応じて配当を実施するものです。平成21年度決算では、お客様にお支払いいただいた1年間のお利息の5%をお返しさせていただきました。

自己資本比率の状況

金融機関の経営体力を示す指標→自己資本比率21.54%

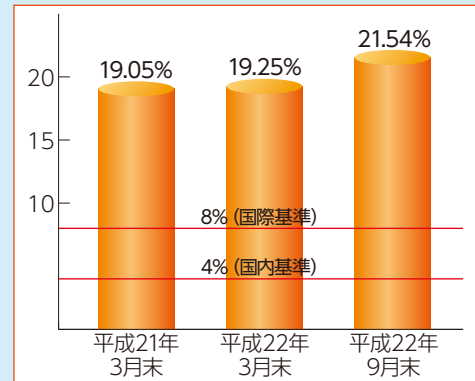
自己資本比率は、金融機関の経営体力を示す指標であり、海外に営業拠点をもつ金融機関には国際基準8%、それ以外の金融機関には国内基準4%が適用されます。

当組合は、これまで毎期の利益を積み上げ内部留保に努めてきたことから、国際基準をも大きく上回る水準を維持しております。

都区職員の皆様が安心してご利用いただけるように、今後も引き続き健全経営を行ってまいります。

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成22年3月末 | 平成22年9月末 |
|-----------------|----------|----------|
| 基本的項目(A) | 6,231 | 6,363 |
| 出資金 | 309 | 310 |
| 利益剰余金 | 5,922 | 6,052 |
| その他有価証券の評価差損(△) | — | — |
| 補完的項目(B) | 18 | 18 |
| 控除項目(C) | 360 | 321 |
| 自己資本額(A+B-C)(D) | 5,890 | 6,061 |
| リスク・アセット等計(E) | 30,587 | 28,126 |
| 自己資本比率(D/E) | 19.25% | 21.54% |



(注)「その他有価証券の評価差損(△)」欄は、平成24年3月31日までの間は、平成20年金融庁告示第79号に基づく特例に従い当該金額を記載しておりません。なお、特例を考慮しない場合の金額は次のとおりです。平成22年3月末181百万円、平成22年9月末23百万円です。

不良債権の状況

貸出金総額に対する不良債権比率は0.58%と極めて低水準

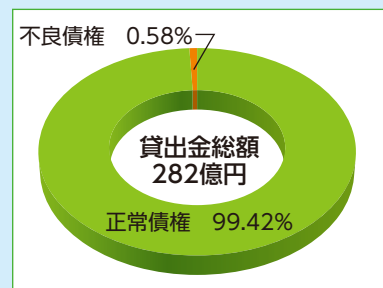
平成22年9月期における不良債権額は、164百万円となりました。

このうち、担保・保証・貸倒引当金により保全されている額は、162百万円で保全率は99.1%です。

●金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位：百万円、%)

| 区 分 | 残 高 | 担保・保証・貸倒引当金による保全額 | 保 全 率 |
|---------------------|--------|-------------------|-------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権※1 | 66 | 66 | 100.0 |
| 危険債権※2 | 98 | 96 | 98.5 |
| 要管理債権※3 | — | — | — |
| 不良債権計 | 164 | 162 | 99.1 |
| 正常債権 | 28,095 | | |
| 合 計 | 28,260 | | |



平成22年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急処置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類し、簡便な方法により算出しております。従って平成22年3月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続しておりません。

※1は、破産、民事再生手続き等の事由に該当する債権など

※2は、債務者の財政状態が悪化するなどの影響で、元本の回収及び利息の受取ができない可能性が高い債権など

※3は、3ヶ月以上延滞している債権及び貸出条件を緩和している債権

有価証券の状況

有価証券の運用は、安定した収益の確保を目的として、安全性の高い債券運用を中心に行っております。

今後もリスク管理を万全に行い、元本の安全性を重視した運用を引き続き行ってまいります。

(単位：百万円)

| 満期保有目的の債券で時価のあるもの | 区 分 | 平成22年9月末 | | | | |
|-------------------|-------|----------|--------|-----|-------|-----|
| | | 貸借対照表計上額 | 時 価 | 差 額 | うち益 | うち損 |
| | 地方債 | 796 | 870 | 74 | 74 | — |
| その他 | 5,200 | 3,856 | △1,343 | — | 1,343 | |
| 合 計 | 5,996 | 4,726 | △1,269 | 74 | 1,343 | |

※その他には外国証券が含まれます。

(単位：百万円)

| その他有価証券で時価のあるもの | 区 分 | 平成22年9月末 | | | | |
|-----------------|--------|----------|----------|-------|-------|-----|
| | | 取得原価 | 貸借対照表計上額 | 差 額 | うち益 | うち損 |
| | 株 式 | 254 | 295 | 40 | 63 | 22 |
| 債 券 | 12,387 | 13,015 | 628 | 636 | 8 | |
| その他 | 9,954 | 9,250 | △703 | 352 | 1,056 | |
| 合 計 | 22,595 | 22,560 | △34 | 1,052 | 1,087 | |

※その他には外国証券、投資信託等が含まれます。

平成22年11月 発行